



伝える



つなげる



しびきあう

No. 411



今月の表紙写真は県社協職員が訪れた四日市市「晩秋を彩るあざやかなもみじ谷」の様子をお届けします。



テーマは
「旅行先の景色や思い出」
三重県内の風景や美味しいもの、
おすすめスポットなどを
ぜひ、おすそ分けください！

※三重県にシャチはいません

写真の投稿はこちらから >>>

あなたの写真が世界への冒険を共有し、
福祉の魅力を広める一役を担うかもしれません！

contents

- 特集：令和7年度 三重県社会福祉大会 …………… 2
- 連載：〇〇にきいてみよう …………… 6
- 三重県共同募金会からのお知らせ …………… 8

福祉みえでは特集記事に uni-voice による音声コードを導入しておりますが、今月号におきましては収録字数の関係上、音声コードの導入を見送らせていただいております。

ふれあいネットワーク

特集

令和7年度 三重県社会福祉大会

去る令和7年10月24日(金)、三重県総合文化センターにて三重県社会福祉に貢献された方々の顕彰と社会福祉の更なる発展を期して、三重県社会福祉大会(第73回)を開催いたしましたので、そのときの内容をお届けします。

三重県社会福祉協議会会長表彰・感謝

民生委員・児童委員功労者【53名】 民生委員・児童委員の現職にあつて、多年にわたり、社会福祉の増進に貢献し、その功績が顕著な方

市町名	氏名	市町名	氏名	市町名	氏名	市町名	氏名
桑名市	伊藤 光子	鈴鹿市	水谷 恵子	松阪市	居附 良子	伊賀市	渡邊 由紀子
桑名市	正木 哲哉	鈴鹿市	大石 以津子	松阪市	粉川 美代子	名張市	梅崎 享子
桑名市	赤坂 節子	鈴鹿市	的場 つや子	明和町	前田 哲司	名張市	小川 金一
桑名市	一村 敏金	鈴鹿市	義村 成子	明和町	前田 幸子	名張市	名倉 豊子
桑名市	石井 幸一	鈴鹿市	石原 かず子	玉城町	岩崎 正	名張市	村田 憲子
四日市市	小林 啓太郎	鈴鹿市	福井 雅子	玉城町	尾上 利幸	名張市	東 美代子
四日市市	藤田 俊子	津市	中野 美代子	伊賀市	和田 文子	紀北町	濱 源治
四日市市	山本 哲也	津市	安達 とも子	伊賀市	西口 保次	紀北町	藤原 治
四日市市	中平 小夜子	松阪市	田替 藤 潤子	伊賀市	北岡 憲次	紀北町	濱田 親
四日市市	石田 千草	松阪市	藤原 久孝	伊賀市	早瀬 福子	紀北町	山口 敬子
四日市市	小林 啓子	松阪市	井上 清三	伊賀市	藤本 正	紀北町	奥村 純男
菟野町	北岡 フミ子	松阪市	刀根 雅人	伊賀市	末松 津屋子		
川越町	太田 勉	松阪市	金児 和子	伊賀市	長愛 廣康		

社会福祉法人・福祉施設功労者【53名】 社会福祉施設の現職にあつて、多年にわたり、社会福祉の増進に貢献し、その功績が顕著な方

市町名	氏名	所属先	市町名	氏名	所属先
四日市市	丹羽 晶子	浜田保育園	津市	後藤 真弓	白塚愛児園
四日市市	鷺山 厚	社会福祉法人徳寿会	津市	井戸 杏奈	白塚愛児園
四日市市	片岡 清二	天力須賀短期入所生活介護事業所	津市	里 晃子	志登茂保育園
四日市市	田中 敦子	社会福祉法人 ユートピア	津市	堀本 浩史	すばる児童館
鈴鹿市	林 仁	鈴鹿第8地域包括支援センター	津市	後藤 佳美	志登茂保育園
鈴鹿市	栗田 斎	ルーエハイム庄野	津市	松谷 かおり	志登茂保育園
鈴鹿市	岩崎 公彰	特養ルーエハイム	津市	笠原 まち子	志登茂保育園
鈴鹿市	荻野 良樹	しらさぎ園	松阪市	竹内 令子	松阪市立春日保育園
亀山市	片岡 真由里	川崎愛児園	松阪市	浮田 恵	子ども家庭センター
亀山市	遠藤 ちひろ	川崎愛児園	松阪市	小野 陽子	こだま小規模保育事業所
亀山市	川森 さわ子	川崎愛児園	松阪市	高瀬 美紀	松阪市立飯南ひまわりこども園
津市	鏡 愛未	三重保育院	松阪市	若林 由子	松阪市立中川こども園
津市	浅田 真由	三重保育院乳児保育所	伊勢市	沖林 真由美	済美寮
津市	高山 宗仙	長谷山荘	志摩市	野口 ひさみ	特養ホームビビアン
津市	東 貴子	長谷山荘	志摩市	大山 康代	特養ホームビビアン
津市	登 暁史	津長谷山学園	伊賀市	山本 幸枝	いなこ保育園
津市	小山 智之	長谷山荘	名張市	堀 幸子	名張市錦生保育所
津市	中西 充	聖マッセヤ心豊苑	名張市	川口 亜希	社会福祉法人名張育成会
津市	片岡 伸敏	報徳園	名張市	杉井 雅樹	成峯
津市	平田 瑞恵	児童養護施設なないろ	名張市	藤森 由香里	のーまらいふ暖
津市	若林 雅恵	児童家庭支援センターたるみ	名張市	平嶋 弘幸	成美
津市	草川 真由美	児童養護施設なないろ	名張市	田中 泰宏	名張養護老人ホームみさと園
津市	岡山 文葉	白塚愛児園	尾鷲市	野口 千代美	尾鷲乳児保育園
津市	今泉 好美	津愛児園	尾鷲市	家崎 由美子	尾鷲乳児保育園
津市	森下 恵	白塚愛児園	尾鷲市	樋口 まこ	尾鷲第一保育園
津市	伊藤 智草	白塚愛児園			

社会福祉協議会・民間団体功労者【21名】 社会福祉団体の現職にあつて、多年にわたり、社会福祉の増進に貢献し、その功績が顕著な方

市町名	氏名	所属先	市町名	氏名	所属先
四日市市	原田 塩子	四日市市社会福祉協議会	鳥羽市	上村 方人	鳥羽市社会福祉協議会
四日市市	今村 初美	四日市市社会福祉協議会	南伊勢町	山本 勝彦	南伊勢町社会福祉協議会
四日市市	今井 ゆかり	四日市市社会福祉協議会	伊賀市	里中 真紀	伊賀市社会福祉協議会
菟野町	加藤 健一郎	菟野町社会福祉協議会	伊賀市	藤林 純子	伊賀市社会福祉協議会
鈴鹿市	真弓 和人	鈴鹿市社会福祉協議会	伊賀市	内田 由里	伊賀市社会福祉協議会
鈴鹿市	生川 朋子	鈴鹿市社会福祉協議会	伊賀市	福田 陽子	伊賀市社会福祉協議会
津市	杉田 せい子	津市母子父子寡婦福祉会 白山支部	名張市	西本 広美	名張市社会福祉協議会
明和町	出口 幸子	明和町社会福祉協議会	尾鷲市	佐野 茂機	尾鷲市社会福祉協議会
明和町	藤井 弘司	明和町社会福祉協議会	紀北町	久保 真美	紀北町社会福祉協議会
伊勢市	阿竹 秀之	伊勢市社会福祉協議会			

社会福祉協働者(感謝)(個人)【2名】 社会福祉活動に積極的に協力し、特に顕著な功績があった方

市町名	団体名	市町名	団体名
南伊勢町	山本 豊	南伊勢町	田畑 紀實



三重県共同募金会会長表彰・感謝

共同募金運動奉仕功労者【2名】 共同募金運動の推進に貢献し、その功績が特に顕著な奉仕者

市町名	氏名	市町名	氏名
桑名市	水谷 忠司	菟野町	佐々木 理

共同募金運動優良地区・団体【26地区・団体】 共同募金運動が特に優秀な地区及び団体

市町名	地区/団体名	市町名	地区/団体名	市町名	地区/団体名
津市	小森山自治会	名張市	元町区	多気町	野中
津市	西里ノ上自治会	名張市	南古山区	多気町	西山
津市	城山東自治会	志摩市	恵利原区	多気町	土屋
津市	青谷第一自治会	志摩市	鵜方自治会	南伊勢町	神前浦区
津市	米津北自治会	伊賀市	中村区(島ヶ原)	南伊勢町	村山区
伊勢市	一字田町内会	伊賀市	川南区	南伊勢町	五ヶ所浦区
伊勢市	小木町	伊賀市	大道区	南伊勢町	伊勢路区
伊勢市	中小俣自治区	伊賀市	種生区		
伊勢市	磯町自治会	伊賀市	山出区		

※ 1地区・団体掲載不可

募金運動篤志寄付者・個人(感謝)【7名】 共同募金に多額の篤志寄付をされた個人

市町名	氏名	市町名	氏名
松阪市	青木 世都	伊賀市	田中 宏明

※ 5名掲載不可

共同募金運動篤志寄付者・法人・団体(感謝)【11法人・団体】 共同募金に多額の篤志寄付をされた団体

市町名	団体名	市町名	団体名
伊勢市・伊賀市	三重ダイハツ販売株式会社	松阪市	東海労務経営管理センター
松阪市	クラギ株式会社	松阪市	野島飼料株式会社
志摩市	有限会社 中原自動車整備工場	名張市	名張市仏教会
四日市市	四日市学生吹奏楽連盟	名張市	株式会社ベルウイング
四日市市	四日市ロータリークラブ	伊賀市	伊賀ふるさと農業協同組合
四日市市	四日市更生保護女性の会		

共同募金運動特別協力功労者(感謝)【1団体】 共同募金運動の推進に特に顕著な功績があった団体

市町名	団体名
松阪市	松阪市ボランティア連絡協議会

三重の赤い羽根共同募金バッジデザイン表彰

赤い羽根共同募金、三重県をイメージした優れた作品をデザインされた方

	氏名	学校名	
三重の赤い羽根賞	小屋口 朱々	三重県立飯野高等学校	2年
三重県知事賞	田中 隼人	三重県立飯野高等学校	2年
三重県教育委員会賞(中学生・高校生部)	加藤 涼	鈴鹿市立大木中学校	3年
三重県教育委員会賞(小学生部)	堀田 健琉	桑名市立深谷小学校	5年
三重県議会議長賞	山田 麗佳	三重県立飯野高等学校	3年
三重県社会福祉協議会長賞	奥井 惺太	三重県立名張高等学校	3年
	丹羽 紅葉	四日市市立三重平中学校	3年
	松鹿 橙磨	三重県立名張高等学校	3年
努力賞	坂部 夢來	三重県立飯野高等学校	2年
	吉田 菜摘	三重県立飯野高等学校	3年
	吉原 夢結	私立暁高等学校	2年



講演

NHKアナウンサーから障害福祉の世界へ

実は私、もともとディレクターになりました。人前で話すのは大の苦手で、アナウンサーになるつもりは全くありませんでした。縁あってNHKにアナウンサーとして入局し、30年間、ニュース番組のキャスターなどを務めました。

「転身のきっかけとなった『ソーシャルアクション』」

元NHKアナウンサーの一般社団法人ソーシャルアクションジャパン代表理事、内多勝康（うちだかつやす）氏が登壇。30年間のアナウンサー経験を経て、障害福祉の世界に飛び込んだ経緯、そして「医療的ケア児」を取り巻く現状と必要な支援について語りました。



キャリアが充実していた2013年、自分で企画・取材した『クローズアップ現代』の制作に挑んだのです。そこで取り上げたのが、医療的ケアが必要なお子さんとそのご家族の現状でした。在宅でのケアに迫られる親御さんたちの話は、長年にわたりにインタビューしてきた中で、一番聞くのが辛いものでした。夜も熟睡できず、外出もままならない、中には「1日1回は死んでしまいたくなる」と漏らす方もいて、私は大きな衝撃を受けました。

「初めての子育てができる『もみじの家』」

その後、私は社会福祉士の資格を取得したのですが、その際に学んだのが「ソーシャルアクション」という言葉です。これは、目の前の困り事への個別支援だけでなく、「困り事を生み出している社会構造そのものへ働きかける」こと。この理念こそ、私がNHKを辞めて「もみじの家」に転職する決め手になったのです。

その後、私は社会福祉士の資格を取得したのですが、その際に学んだのが「ソーシャルアクション」という言葉です。これは、目の前の困り事への個別支援だけでなく、「困り事を生み出している社会構造そのものへ働きかける」こと。この理念こそ、私がNHKを辞めて「もみじの家」に転職する決め手になったのです。

医療の進歩により、かつては命を落としていた子どもが救命されるようになった利点の一方で、医療的ケア児は増え続けています。特に人工呼吸器を装着して退院する子どもの数は、2008年から比べると実に12倍になりました。その多くを在宅で支える家族は、慢性的な不眠や社会からの孤立といった深刻な状況にあります。お親御さんたちの4分の3以上が、「希望する形で仕事につけていない」という実態もあります。

「医療的ケアがあるからといって『何もできない』と決めつけてはいけないということ。社会の側が合理的配慮を提供し、環境を整えることで、彼らの可能性は大きく広がるのです。」

「もみじの家」での宿泊は、子どもたちにとって、親元から離れて自立のためのトレーニングをする場にもなります。人工呼吸器をつけたある少年は、初めて親から離れて泊まりに挑戦し、自分で物事を決める小さな成功体験を積み重ねました。その後、彼は高等部を卒業し、パソコンの技術を活かして一般就労を果たしています。この事例が示すのは、医療的ケアがあるからといって「何もできない」と決めつけてはいけないということ。社会の側が合理的配慮を提供し、環境を整えることで、彼らの可能性は大きく広がるのです。

私が勤めた「もみじの家」は、医療的ケア児とその家族が数日間宿泊できる短期入所施設です。ここは、単に命を維持する場所ではありません。24時間看護師による医療的ケアと、お風呂や食事などの生活介助。そして、私たちスタッフが大切にしているのが、保育士などが提供する遊びや学びの活動（日中活動）という3本柱です。

講師 Profile

内多 勝康 氏

東京大学教育学部卒業後、NHKに入局。30年間アナウンサーとして『首都圏ネットワーク』、『NHKスペシャル』、『クローズアップ現代』などのキャスターを務める。2016年にNHKを退職後、『もみじの家』ハウスマネージャー（現シニアアドバイザー）に就任。今年、一般社団法人ソーシャルアクションジャパンを設立し、代表理事を務める。



「もみじの家」での宿泊は、子どもたちにとって、親元から離れて自立のためのトレーニングをする場にもなります。人工呼吸器をつけたある少年は、初めて親から離れて泊まりに挑戦し、自分で物事を決める小さな成功体験を積み重ねました。その後、彼は高等部を卒業し、パソコンの技術を活かして一般就労を果たしています。この事例が示すのは、医療的ケアがあるからといって「何もできない」と決めつけてはいけないということ。社会の側が合理的配慮を提供し、環境を整えることで、彼らの可能性は大きく広がるのです。

2021年には「医療的ケア児支援法」が成立しました。これは、支援を国や自治体の「責務」とし、特に家族の離職防止などを目的とした素晴らしい法律です。しかし、法律ができたからといって、世の中が自動的に良くなるわけではありません。私は、法律の制定はゴールではなく、スタートラインだと認識しています。行政に「問題ない」と思わせてはいけません。東京都で人工呼吸器をつけた子どもが親の付き添いなく学校に通えるようになったのは、当事者家族が継続的に声を上げ、行政に働きかけたソーシャルアクションの成果です。

この社会を変革する動きを全国に広げるため、私は全国47都道府県の家族会を結ぶネットワークを立ち上げました。「誰もが活躍できる社会」を目指し、ぜひ皆さんも地域で、職場で、ご自身の現場で声を上げてソーシャルアクションを巻き起こし、この社会をより良いものにしていきましょう！



大会宣言

近年、我が国においては、急速な人口減少と高齢化が同時に進む中、高齢者世帯や単身世帯の増加、格差や貧困、ひきこもり、孤立など大きな社会課題が増加しています。

また、毎年のように全国のどこかで大きな災害が発生し、災害時の福祉の支援の強化が必要であると叫ばれ、そうした中、令和7年7月1日施行「災害対策基本法等の一部を改正する法律」により、「福祉サービスの提供」が法律や告示等で位置付けられたことは、歴史的な事象といえます。

このような状況の中、誰もが身近な地域で安心して暮らしていくためには、住民、行政、企業、各種団体等の地域の多様な主体の協働が不可欠です。2016年に新たな時代に対応した福祉提供ビジョンとして「地域共生社会の実現」が謳われ、10年近くが経とうとしています。今こそ、暮らしにおける人と人とのつながりが弱まる中、関係性を再構築することにより、人生における様々な困難に直面した場合でも、誰もが役割を持ち、お互いが配慮し存在を認め合い、そして時に支え合うことで、その人らしい生活をおくることができるような社会の実現が求められています。

本日、ここに第73回三重県社会福祉大会を開催するにあたり、私たち社会福祉関係者を含め、あらゆる人が地域を共に創り、一人ひとりが生き生きと暮らせる、そして、災害に負けない地域社会を作っていくことを固く誓い、ここに宣言します。

令和7年10月24日 第73回三重県社会福祉大会

受賞者の声



松阪市立春日保育園

園長 **竹内 令子** さん (松阪市)

三重県社会福祉協議会会長表彰 社会福祉法人・福祉施設功労者

短大在学時に実習があり、子どもたちとの触れ合いが楽しくて「ずっと続けたいな」と思ったのがきっかけで、保育の道に進むことを決意しました。私が歩んできた時代と比べると、今の保育士は「窮屈そうだな」と感じる人が多いですね。「不適切な保育」という言葉を頻繁に耳にするようになり、毎年のように離職する職員も出るというのが現実です。保護者にも言葉を選びつつ対応している姿を見ると「もっと伸び伸びさせてあげたいな」と思うこともしばしばあります。今後に関しては、私自身よりもまず職員の境遇を考える立場なので、月並みではありますが「働きやすい職場」を実現するために力を尽くしたいですね。慢性的に保育士が不足している現状を踏まえて「大変だけど、その分喜びも大きい」仕事であるということを若い人たちに伝えたいと思います。

受賞者の声



菟野第二区

区長 **佐々木 理** さん (菟野町)

三重県共同募金会会長表彰 共同募金運動奉仕功労者

今回の表彰は、自治会の戸別募金に関してという色合いが強いので、私個人というよりも地域の皆さんと共にという思いでいっぱいです。長年にわたる住民の協力により、募金を集める仕組みが構築されていて、私はそこに乗っからせてもらっただけと言いますが…。この役に就いて8年になりますが、活動に際して苦労したという記憶はありません。「募金には協力する」との意識が地域全体に浸透しており、先人たちの地道な努力のお蔭で今があることを痛感しています。ただ、この状況がいつまでも続くとは限りません。これからは、募金の使い道を広く知ってもらうことが大切だと思います。現在でも紙の回覧で周知していますが、やはり読まない人も多い。特に次世代の人たちに向けて、一斉メールなどでデジタルの力も活用していくことが必要だと感じています。

にきいてみよう

福祉の現場では、様々な経験をもった方々が活躍しています。そこで、この連載では、様々なルーツをもつ方々にスポットを当てて、掘り下げていきます。

第3回は、生花業界から福祉業界に転身され、支援相談員として活躍される、介護老人保健施設 第二嘉祥苑「アコラス」の伊藤大樹さんに、現在の仕事についてお話を伺いました。



① 福祉業界にはいるきっかけ

私が福祉業界に入る前は生花市場関係の会社に勤めており、花の仕入れから販売、営業をしていました。市場に出入りするため勤務時間が朝早く、夜中から働くこともしょっちゅうでした。独身の時はそれで良かったのですが、結婚と子供の誕生を経て、共働きで仕事と子育ての両立に限界を感じて転職を考えるようになりました。

そこで社会貢献にもなり、高齢化社会の進展によりますますニーズが高まるであろう福祉業界に興味を持ちました。

② 支援相談員からケアマネへ

未経験で現在の法人に入職した頃は、初めてのことばかりで失敗もありました。周りの方に支えられ、しばらくして支援相談員とい

う役割を与えてもらいました。たくさんご利用者さんやケアマネジャーと関わる支援相談員は大切な施設の窓口ですが、日々のケアは介護現場に任せることになるので、一人一人の利用者と深く関わることがありませんでした。利用者に長期間関わることでできるケアマネジャーに興味を持つようになり、ケアマネジャーの試験に挑戦することとなりました。

③ ケアマネジャーになって

無事合格し、ケアマネジャーの業務につかせてもらい3年目となりました。

ケアマネジャーになって一番良かったことは、ワークライフバランスが非常に取りやすくなったことです。自分でスケジュールを決めることができるので、ケアマネジャーになってからは毎週の子供の習い事の送迎や行事の参加ができるようになります。夫婦での役割分担もやりやすくなりました。自分次第ですが残業もほとんどないので、家事も手伝えることが多くなり、今ではすっかり料理当番となっています。

ケアマネジャーといえは多忙で様々なことをしなければいけない印

象があるかもしれませんが、子育て世代にはお勧めできる職種だと思います。

④ 今後の目標

何事も無駄な経験は一つもないと思います。全く関係のない生花市場での経験も施設での生け花のレクリエーションの時に先生のお手伝いをしたり、利用者さんにアドバイスをしたりと意外に役に立っています。ケアマネジャーとしてさらに経験を積み、今後はスキルを高めるため主任介護支援専門員の資格にも挑戦しようと考えています。





社会福祉施設総合損害補償

しせつの損害補償

◆加入対象は、社協の会員である社会福祉法人等が運営する社会福祉施設です。

プラン1 施設業務の補償

(賠償責任保険、医師賠償責任保険、看護職賠償責任保険、サイバー保険、動産総合保険、費用・利益保険)

1 基本補償(賠償・見舞費用)

保険期間1年

▶保険金額		基本補償(A型)	見舞費用付補償(B型)
賠償事故に対応	身体賠償(1名・1事故)	2億円・10億円	2億円・10億円
	財物賠償(1事故)	2,000万円	2,000万円
	受託・管理財物賠償(期間中)	200万円	200万円
	うち現金支払限度額(期間中)	20万円	20万円
	人格権侵害(期間中)	1,000万円	1,000万円
	身体・財物の損壊を伴わない経済的損失(期間中)	1,000万円	1,000万円
	徘徊時賠償(期間中)	2,000万円	2,000万円
お見舞い等の各種費用	事故対応特別費用(期間中)	500万円	500万円
	被害者対応費用(1名につき)	1事故10万円限度	1事故10万円限度
	傷害見舞費用		死亡時 100万円 入院時 1.5~7万円 通院時 1~3.5万円

▶年額保険料(掛金)	
定員	基本補償(A型)
1~50名	35,000~61,460円
51~100名	68,270~97,000円
以降1名~10名増ごと	1,500円

基本補償(A型) 保険料	+	【見舞費用加算】 定員1名あたり 入所: 1,300円 通所: 1,390円
--------------	---	---

- 2 個人情報漏えい対応補償 3 施設の什器・備品損害補償

- オプション1 ● 訪問・相談等サービス補償
- オプション2 ● 医務室の医療事故補償
- オプション3 ● 看護職の賠償責任補償
- オプション4 ● 借用不動産賠償事故補償
- クレーム対応サポート補償

プラン2 施設利用者の補償

(普通傷害保険)

- 1 入所型施設利用者の傷害事故補償
- 2 通所型施設利用者の傷害事故補償
- 3 施設送迎車搭乗中の傷害事故補償



プラン3 職員等の補償

(労働災害総合保険、普通傷害保険、約定履行費用保険、雇用慣行賠償責任保険)

- 1 職員の労災上乗せ補償
使用者賠償責任補償
- 2 役員・職員の傷害事故補償
- 3 役員・職員の感染症罹患事故補償
- 4 雇用慣行賠償補償



プラン4 法人役員等の補償

(役員賠償責任保険)

社会福祉法人役員等の賠償責任補償

● このご案内は概要を説明したものです。詳細は「しせつの損害補償」手引またはホームページをご参照ください。●

団体契約者

社会福祉法人 全国社会福祉協議会

〈引受幹事〉
〈保険会社〉

損害保険ジャパン株式会社 医療・福祉開発部 第二課

TEL: 03(3349)5137

受付時間: 平日の9:00~17:00(土日・祝日、年末年始を除きます。)

取扱代理店

株式会社 福祉保険サービス

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F

TEL: 03(3581)4667

受付時間: 平日の9:30~17:30(土日・祝日、年末年始を除きます。)

(SJ24-11108 より抜粋)



三重県共同募金会からのお知らせ

NHK歳末たすけあい義援金を受け付けています

NHK歳末たすけあい義援金は、新たな年を迎えるにあたって、障がい者、子ども、高齢者等支援が必要な方々に県民の皆様からの寄付金を、共同募金会を通じて助成するものです。

募金は各金融機関やNHK津放送局で受け付けています。

● 実施期間

令和7年12月1日(月) ~ 12月25日(木)

● 金融機関での受付

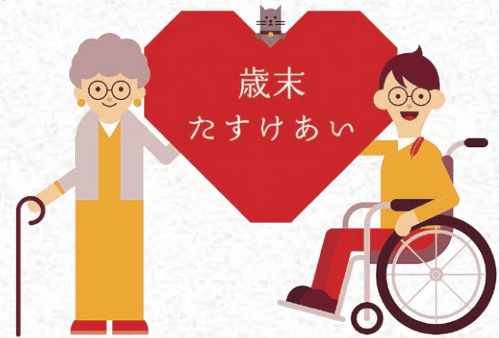
各金融機関窓口にて専用の振込用紙を設置します。

● NHK津放送局での受付

期 間 令和7年12月1日(月) ~ 12月25日(木) 10時 ~ 16時

※土・日及び祝日はNHK津放送局が閉館のため、受付を行いません。

場 所 NHK津放送局(津市丸之内養生町4-8)



地域課題解決型募金(テーマ型募金)を受け付けます

三重県共同募金会は、令和2年度から地域課題解決型募金(テーマ型募金)の取組みを行っています。テーマ型募金とは、共同募金運動の期間拡大期である1月~3月に地域で活動する団体が、その地域が抱える課題を解決するため、団体の活動をアピールすることにより、活動に賛同する方から寄付金を募る取組みです。

本年度は、「NPO法人バンビの会」、「父子の会」、「一般社団法人三重県里親会」、「徳和住民自治協議会」の4団体が参加します。

来月号では、団体の活動内容について紹介しますので、お楽しみに!

詳しくは本会ホームページ(<https://mie-akaihane.or.jp/expansion.php>)をご覧ください。



発行人 井村 正勝

編集人 横田 浩一・広報委員会

発行所 社会福祉法人 三重県社会福祉協議会

〒514-8552 三重県津市桜橋2丁目131

TEL: 059-227-5145 FAX: 059-227-6618

URL: <https://www.miewel-1.com/> E-mail: info@miewel.or.jp

編集協力 株式会社アイリック